

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあいの街東新田

作成日: 平成 29 年 2 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	6	身体拘束「0」宣言を掲げ、身体拘束をしないケアの実践をしているが、危険回避の為、家族に了解を頂きユニットの施錠をしている。	職員の目の届く時間帯に、換気の意味も含め時間を決め、入口・非常口を開ける。	時間を決め換気も同時に行えるよう、GHの入口・非常口を開ける。開けるとすぐに階段がある為、安全を確保し事故防止に努め、短時間実施する。	12ヶ月
2	6	身体拘束に係る書面(施設マニュアル)の確認。	一時性・代替性・切迫性に係る書面(施設マニュアル)の確認し、その意図や使い方などを職員全員が周知する。	施設研修やミーティング等で、その意図や使い方等を検討し、職員全員が周知し実行する。	6ヶ月
3	35	防災訓練(年二回)の実施。今後も火災・地震・風害・水害等の災害に備え、利用者様との生活の中、危機意識を持てるように取り組んでいく必要がある。更に自治会・近隣者と連携を強め、緊急時に出来る事など役割を明確にする事が必要である。尚、備えとして必要物品の備蓄が必要である。	災害対策の強化。	・災害時の対応方法の研修・訓練の実施 ・更なる消防署との連携 ・自治会・近隣者との連携・関わり ・備蓄品リストの作成・管理	12ヶ月
4	43	消耗品ボックス等、ネームを使用している為、プライバシーの侵害。	施設内において、利用者様のネームをそのまま表示してある所は改善し、個人のプライバシーを尊重を守る。	トイレに設置してある消耗品ボックスのネームをイニシャルに変更する。	1ヶ月
5		前回の課題として、「目立たないエリアでの清掃が行き届いていない」。	職員の協力により、目標は達成できたと思うが引き続き実施していきたい。	実施する曜日・清掃箇所など時間を決め居室や共用空間を清潔に保ち、利用者様が居心地良く毎日過ごして頂けるように継続していきたい。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。